プリンセス
小公女セーラ

第25話

『一日だけのシンデレラ』

AR台本

企画
制作　日本アニメーション株式会社

プリンセス

小公女セーラ

第二十五話『一日だけのシンデレラ』

登場人物

セーラ……………島本須美
ベッキー…………鈴木三枝
ミンチン…………中西妙子
アメリア…………梨羽由記子
ラビニア…………山田栄子
ジェシー…………飯塚はるみ
ガートルート……佐々木るん
アーメンガード……八百板万紀
モーリー…………向殿あさみ

ジェームス……郷里大輔

ディファルジュ……上田敏也

ロッティ……渡辺菜生子

ジェニファ……

クリステル……

郵便屋……

市長夫人……

紳士……

カメラ	画面		音声
1	早朝のロンドンの街　手前にインド人が住む家の煙突に止まっている雀　セーラ部屋に、出窓の屋根にも止まって啼いている雀		S・E　（チュン、チュン、チュン）
2	机に突伏しているセーラ　部屋は未だうす暗い　雀の啼き声　セーラ、洋服のままエプロンはしていない		S・E　（チュン、チュン、チュン）
3	燃え尽きたローソク　開かれたフランス語の本の上に突伏しているセーラ、石ばんに書かれたフランス語　薄目を明けて、ちょっと起きかかるがすぐ突伏すセーラ　眠そうに起き上るセーラ　両手でねむい目をこすり目を覚す　本に気づいて、いたずらっぽく頭をかいていたずらっぽく笑う		セーラ　「ウン、ウッ、ウ～ン」 S・E　（チュン、チュン、チュン）（雀の声激しく） セーラ　「いけない！……フランス語を勉強しながら、眠ってしまったのね。……デイファルジュ先生に笑われちゃうわ……

			フフフ……」
4	机の上の燭台と壁によりかかっているエミリー人形		
5	食堂に集まる生徒一同 PAN← 一同の前にミンチン入ってきて		ミンチン「……そう云う訳で、今日は市長夫人はじめ、市の偉い方々が、皆さんの勉強ぶりを見学に見えるのです。この学院の生徒として、恥ずかしくないよう、日頃の成果をお見せせねばなりません…」
6	歩きながら近づく 生徒達、ざわつく		
7	体を寄せ合って囁き合う子供達		子供達「（ADLIB）ガヤガヤ」
8	ミンチンを見つめている生徒達 一同を見回すミンチン　外をセーラが重そうなバケツを下げて行くのが見える　満足そうにうなずくミンチン		ミンチン「……判りましたね……」 一　同「はーい!!」
9	厳しい目付で石段や足許を眺め回しているモーリー　満足げにうなずき、セーラーの方を見て		モーリー「……石段の方はこれでいいだろう！ ……偉いお客が沢山来るそうだから、 しっかり掃除するんだよ」

10	手摺りを洗っていたセーラ、体を起こして、モーリー大きくうなずき　モーリー、セーラの方を見ながら石段を降り始める 仕事を始めるセーラ		セーラー「はい…モーリーさん！」 モーリー「……うん……」
11	雑巾の水をしたたり落としながら、手摺りを洗うセーラ　次え次えと移っていく		
12	バケツに雑巾が入れられ、すすがれ、水がしぼられる		
	A・C		
13	ハシフシから手摺りに行き拭き始めるセーラ 次々と懸命に拭いていく		
	A・C		
14	懸命に手摺りを拭くセーラ 振り返りにっこりとするセーラ 立ち上る		ディファルジュ(off)「ボンジュール、マドモアゼル・セーラ」 セーラ「ハアー」
15	立ち上るセーラににこにこ笑いながら来て止るディファルジュ		セーラ「お早ようございます、ディファルジュ先生！」

	ディファルジュ、手摺りを眺め回して、目を細め感心する		ディファルジュ「……やあ……いつも綺麗にしているんだね。御苦労さん。……ところで、フランス語の勉強は進んでいるかな……」
16	にっこりとするセーラ		セーラ「はい……先生に頂いた教科書でずっと……」
17	笑い顔でコックリとうなずくディファルジュ　ディファルジュ、首を振り　笑顔してセーラの前を去っていくディファルジュを振り返り見送るセーラ　T・U 微笑しているセーラ		ディファルジュ「ほう……それはよかった……」 セーラ「有りがとうございました」 ディファルジュ「いや、いや……勉強好きな君に、私の出来るせめてもの応援じゃよ。きっと今に神さまも君に応援して下さるよ……では……」 セーラ「ハアー」
18	晴れた空　BG ONLY		
19	セーラ、隣の家に近い方の柵を洗っている		S・E（振鈴の音） （カラン、カラーン） ←
20	懸命に洗っているセーラ　雑巾からしたたり落ちる水滴		

	ちらりと教室の方を見上げるセーラ		
21	窓ガラスを透して見える室内 生徒達、一瞬静まる		声（生徒達）「ざわざわ（ＡＤＬＩＢ）」 Ｓ・Ｅ（扉の開閉音）（ガチャ） ディファルジュ(off)「ボン、ジュール、マドモアゼル……」 生徒達(off)「ボンジュール、ルシユウ……ディファルジュ……！」
22	鉄柵につかまって、にこやかな顔で窓を見つめていたセーラ 声(off)で、生徒達、先生の声が聞えている　しばらくして、又、懸命に仕事にかかる		←〜〜（こぼし）
23	懸命に手摺りを拭くセーラ 雑巾をバケツに入れすすぎしぼる		
24	手摺りを濡れ雑巾で拭いていくセーラ　ちょっと顔をあげて聴くセーラ、手を止める		ディファルジュ(off)「イル、フエ、ボウネスパ…」 生徒(off)「イルーフエ、ボウーネスパー？」 セーラ「今日は、とても良い天気ですわ（フ

	にっこりとして手で髪の毛をなで上げて、仕事にかかるセーラ		ランス語で）……ディファルジュ先生！ (Ohi. Ilfait Recw temps）」
25	立ち上るセーラ、封筒を受けとる　去っていく郵便配達夫、封筒を確めて玄関の方へ小走りにいくセーラ		郵便屋(off)「お早よう……郵便だよ」 セーラ「ハイ、ご苦労様です」
26	机に向ってペンを執っているミンチン		
27	膝の上のシーザーをなでているアメリア　尾をはらうように動かしているシーザー　耳を立てて起き上るシーザー「あらどうしたの？」というようにシーザーをのぞきこむアメリア 扉の方を見るアメリア		S・E（ノックの音）（コン、コン、コン）
28	筆を執ったまま返事するミンチン		ミンチン(off)「お入り……」

29	扉開いてセーラ入口に立ち ミンチン、振り返らず 返事して立ち上るアメリア、ひざから飛び降りるシーザー		S・E（ガチャ） セーラ「院長先生にお手紙ですが……」 ミンチン「アメリア、受取って……」 アメリア「はい……」
30	一歩、アメリアの方へ歩くセーラ シーザー、セーラの足許に近寄りまとわりつく アメリアセーラに近寄り封筒を受取る 一礼して扉をしめるセーラ シーザー、後を追おうとするが		アメリア「ご苦労様」
	A・C		
31	しまる扉、どすんと衝突するシーザー		
32	アメリア、下を見てクスンと笑い、手紙を見てから、ミンチンの方を見て		アメリア「まあ……市長夫人からですわ……！」
33	ペンを執っていたミンチン振り返る びっくりして立ち上る		ミンチン「なんですって！」
	A・C		
34	立ち上り、アメリアの方を向く		アメリア「きっとお姉様がお願いしておいた学

	アメリア入って来てミンチンに封筒を手渡す		院への援助の御返事ですわ」
35	手紙から、アメリアを見て、くるりと背を向ける		ミンチン「判っています……」
	A・C		
36	ミンチン振り返り座り、机の抽出しを開てペーパーナイフを出して		
37	ペーパーナイフで切っていくミンチンの手　切り終りナイフを置いて中から手紙を取り出す		
38	手紙を読み始めていくミンチンー表情がどんどん変っていく口を真一文字にしめ、目を閉じたり、宙を拝いだりして、想ってもいなかったことが書いてあるというふうな感じでいるミンチン		ミンチン「あー、はー、ふうー」
39	怪訝な面持で見るアメリア（心		ミンチン(off)「……まあ……」

	持ちのり出し首をのばして後、横からのぞき見る感じで……） 「はっ」となるアメリア		アメリア「……?!……どうしたんですの……?」
40	ミンチン、手紙を見つめたまま喜色を浮べるアメリア ミンチン振り返り、ジロリと見てアメリアをたしなめる アメリア、はっとなり身を正す		ミンチン「今日の授業の見学についてです。……大変に期待していると……」 アメリア「まあ……では援助の件も有望なんですのね」 ミンチン「慌てないで！」 アメリア「ハッ？」
41	身を固くしているアメリアを見ていた目をはずして手紙を見るミンチン　手紙を読むミンチン アメリア再び遠慮がちに後からのぞく		ミンチン「……そのあとに、こう書いてあります！……以前見学した折のあの代表生徒さんの、素晴らしいフランス語を、是非見学の皆さんにも紹介したいと思っています……」
42	うれしそうなアメリア （※内容をそのまま受けている） 有頂点ぎみに		アメリア「まあ……市長夫人はあのときのセーラさんを憶えていらっしゃるんですね……なんて光栄なんでしょう！」
43	きっとなって振り返るミンチン 立ち上る		ミンチン「アメリア！」

A・C

44	立ち上ったミンチン、顔をアメリアに近づけるようにして、おののくように身をそらしていくアメリア	A・C	ミンチン「……なにが光栄です……」
45	スカートをにぎりしめる手、椅子をにぎりしめる手		
46	まゆを逆立てているミンチンぐっとにらむ		ミンチン「……セーラはもう……この学院の代表生徒でもなんでもないのですよ……!!」
47	アメリア口をうすく開けあえぐ息		アメリア「……そ……そうでしたわ……」
48	「ふん」といった表情を見せるミンチン（何も判らないくせにという表情）		ミンチン「フン」
49	ミンチンの御気嫌をとり直すように（下から拝ぎ見るようにしてもみ手をしているような演技）		アメリア「……お姉様……一体……どうなさるおつもりで……」
50	ミンチンじっと、アメリアをに		

	らんでいたが（口がゆがんでゆく）ゆっくりと背を向ける		
A・C			
51	振りかえり机に手をつき机の上の手紙を見つめるミンチン		
52	机の上の手紙とナイフ		
53	考えこみながら歩き始める見つめるアメリア		ミンチン「……なんという困ったことに……」
54	考えながら歩くミンチン椅子にもたれかかる		←〜〜（こぼし）
55	考えこむミンチンとそれをうかがうアメリア		ミンチン「ウーン」
56	考えこむミンチン、アメリアシーザーがのっそりと歩いてくる		←〜〜
57	椅子の足許に座り、上を見上げるシーザー（ものうげにゆっく		

	りと）		
58	椅子に手をかけたままのミンチン、考えながら		ミンチン「……あの子が辞めたなどと言えば、市長夫人はがっかりなされて、……援助の件も難しくなるに決っています…」
59	うかがうように……おそるおそる言うアメリア		アメリア「……では……本当の事をお話しては……？」
60	眉がきっとなるが目はアメリアを見ないで		ミンチン「本当の事をですって？」
61	アメリアこっくりとうなずいて自分でいい考えが浮かんだというようにニコニコした風で		アメリア「ええ……インドのお父様が、ダイヤモンド鉱山に手を出して……破産したことや……」
62	シーザー首をすくめるように身を縮めていく		アメリア(off)「……熱病で亡くなった事……」
63	口許と眉毛がキリキリとなってゆがんでいくミンチンするどい怒号が飛ぶ！		アメリア(off)「それから……今はこの学院でメイドの代り……」 ミンチン「お黙り!!」

64	アメリア震え上る		アメリア「はあーッ！」
65	仰天したシーザー飛び上り あわてて逃げていく		
66	ソファの下へ隠れていくシーザー		
67	椅子をにぎりしめているミンチ ンまゆを逆立てている　T・U		
68	うなだれうつむいているアメリ ア		
69	ソファの下からのぞくシーザー		シーザー「う――!!　（唸りです）」
70	アメリアをにらみつけていたが ……力なく机にもたれかかるミ ンチン（猫の見た目） うなだれていくミンチン		ミンチン「……セーラが今なにをしているか、 市長夫人に知れてごらん、援助どころ か経営はメチャメチャです！」
71	椅子をかたく握りしめ、小きざ みに震える肩		

72	うなだれている姉妹	
73	作業場の排水溝の前におかれるバケツ　バケツの水が流される汚れた水が排溝を流れていく	
74	泥水を流し終りおき上り大きく溜息をついて髪をかき上げるようにして大きく溜息をつくセーラ、がっくりと肩をおとす	S・E　（振鈴の音） セーラ「フーッ、フ――ッ」
75	廊下、振鈴をもったアメリアの方へ来るディファルジュ ディファルジュ、何の事か、さっぱりわからず、うなずくアメリア	ディファルジュ「……アメリア先生……なにか、ご用ですか……」 アメリア「ええ……お姉様が、是非ご相談したい事があると……」 ディファルジュ「ほう……院長先生が……」
76	院長室の窓　考えるようにして窓に近づき止り外を見るディファルジュ	
77	外を見つめているディファルジュ	ディファルジュ「ふうむ……市長夫人はあのセーラ君のフランス語を憶えておいでで

			したか……」
78	心配げに立つアメリアとミンチン、相鎚をうつアメリア		ミンチン「だから余計に困っているのです。まさか、セーラを教室に出すわけには行きませんし……」
79	ディファルジュ、外の方を見ながら		ディブァルジュ「しかし……院長先生、残念ながら他の生徒さん方のフランス語の力では……とても市長夫人を感心させる程には参りませんぞ」
80	振り返るミンチン達の方を見て		
81	顔を見合せるミンチンとアメリア		
82	ディファルジュ、二人の方に近づいて　ディファルジュ、in して　ミンチン、ディファルジュにたずねるように		ディファルジュ「院長先生……いかがでしょうかな。この際、思い切ってあのセーラ君を……」 ミンチン「セーラになにか……」
83	ディファルジュ、のり出すようにして		ディファルジュ「……代表生徒の代役になって貰っては……」
84	唖然とするミンチン		ミンチン「まあ……！　代役ですって……?!」

85	唖然となるアメリア		アメリア「ハアッ！」
86	のり出し見て尾、ぶるんと振るシーザー		
87	にっこりと笑うディファルジュ		ディファルジュ「……そうなんです。（大きく一人うなずき）あの子なら……今すぐにでも、立派なフランス語の力をお見せ出来る筈です」
88	唇をかみしめるミンチン、強くにぎられていく両の手　身体をわずかにのり出すようにしてディファルジュを見つめながら―		
89	じっと見つめるディファルジュ		
90	見つめ合う三人		
91	ミンチンを振り返り見るアメリア		
92	うつむいて考えているミンチン		

	キッとなる口（強くかみしめられる）ギュとにぎられる手、その瞬間ぱっと顔を上げてるミンチン		ミンチン「……アメリア！　……セーラを呼びなさい！」
93	ギクッとなる		アメリア「はい……！　お姉様！」
94	「ほっ」となり、にっこりとするディファルジュ		ディファルジュ「ハアー」
95	台所のテーブルに山と積まれた鍋や食器類、セーラ、鍋や食器を持って入ってくる テーブルの上に置く		
96	仕事をしているジェームスとモーリー　モーリー振り返り		モーリー「さあ……今日は忙しいんだからね……早く片付けておくれよ……」
97	セーラ、洗って来たものをより分けている　ジェームス、仕事をしながら振り返らずに言う 返事するセーラ　水の入った鍋を運んでくるベッキー		セーラ「はいー、モーリさん！」 ジェームス「セーラ、お前は、そいつがすんだら……市場に買出しだ、判ったな」 セーラ「はい……ジェームスさん」

98	セーラの傍を通過していくベッキー　えり分けているセーラ、お皿を数枚持って棚の方へ向う	
99	棚の上に皿を置くセーラ	
100	鍋をレンジにかけるベッキー 急いでoutしていくベッキー	ジェームス「ベッキー、早く向うを片付けろ…」 ベッキー「ハイ！」
101	鉢や皿などを運ぶセーラ、急いで入って来るアメリア セーラ、アメリアの方を見て アメリア、セーラの前に来て	アメリア「あー！　セーラさん院長先生がすぐ来るようにと……」 セーラ「……でも……これから……市場の買出しに……」 アメリア「そんなこと後でいいんです。さ、早く……！」
102	キョトンとした顔のセーラ 急いでoutするセーラ	セーラ「はい……アメリア先生……」
103	棚に食器を置くセーラ	
104	茫然と振り返って見つめている ジェームスとモーリー　口をア	

	ングリとあけて立つベッキー		ベッキー「ハー？」
105	セーラ、アメリアにせかされながら台所より出ていく 入口へ走るベッキー		
106	出て来て啞然とした顔で見つめているベッキー　（cut尻で首をひねるベッキー）		S・E　（足音せわしなく遠ざかる） ベッキー「ハア」
107	口をアングリとあけて見送っている二人――　顔を見合わせて奇妙な表情で首をひねる		二　人　「ああっ！」
108	茫然となっているセーラ		
109	セーラを見つめているミンチン		
110	茫然とミンチンを見つめるセーラ　傍のアメリアを見上げるセーラ		
111	アメリアから、目線を変えるセ		

	ーラ	セーラ　「ハッ」
112	にこやかな顔でセーラを見つめているディファルジュ　T・U	
113	セーラ、ディファルジュを見つめていたが、うつむいていく	
114	ミンチン、念を押すようにして	ミンチン「よろしいですね……セーラ……そう云う訳で、今日は特別に……お前に、代表生徒の身代りを申しつけることにしました……」
115	うつむいているセーラ 顔を上げ茫然と見る	
116	びっくりするセーラ	セーラ　「身代り……」
117	ミンチン、確認するように	ミンチン「不服はない筈です……判りましたね」
118	セーラ、気押されて返事する	セーラ　「はい……院長先生」
119	満足げにうなずくミンチン	
120	「ほっ」とするアメリアもにっこりとする	アメリア「ハア！」

No.	画面		台詞
	セーラ、ディファルジュの方を見る		
121	微笑しているディファルジュ、片目をつぶってみせる		
122	セーラもにっこりする		セーラ「フフッ!」
123	部屋の中の一同―― 満足げに顔を見合わせている姉妹と、見つめ合うセーラとディファルジュ		
124	ミンチン、つけ足すように言う セーラの方を見るアメリア		ミンチン「それから……アメリア……」 アメリア「はい、お姉様……」 ミンチン「この服では市長夫人はじめ、市のお偉い方々の前には出せません。……生徒たちの誰かに云って、借りさせるように……」
125	うつむいているセーラ T・U		アメリア(off)「はい……お姉様!!」
126	教卓の前に立つセーラうつむいている 騒ぐ一同を前にして、		

	アメリア心細い顔で一同を眺め回している		生徒達「ワイワイガヤガヤ」
127	くやしさをこらえているラビニア、他の生徒たち、思い思いのポーズで勝手に話している ラビニア、教卓の方を見る		
128	アメリアの傍でうつむいている セーラ……騒ぐ生徒達を制する アメリア 前にでていく		アメリア「……静かに……皆さん……静かにして下さい!!」
129	一同、静かになる 生徒の間に入って来てアメリア、眺め回し話しだす		アメリア「ラビニアさんに代ってセーラさんが代表生徒になるのは市長夫人が見学にお見えになる時間だけです」
130	アメリア、あたりを眺め回しながら、ジェニファア、クリステル囁き合う アーメンガード正面のセーラを見る		アメリア「よろしいですね、皆さん」 ジェニファア・クリステル「（ADLIB）～」
131	セーラ一度は顔を上げるが、うつむいて行く		ジェシー(off)「ひどいわ、これじゃ……」

132	ガートルートとジェシー、不満げな顔を寄せ合っている		ジェシー「……ラビニアが可愛そうじゃないの」 ガートルート「そうよ……、セーラを代役にするなんて、あんまりだわ」
133	うつむいているセーラをじっと見つめるラビニア、唇を噛み、するどい目付である		アメリア(off)「では、ラビニアさん」
134	ラビニア、アメリアの方を見るすぐ目線をはずして、苦痛にゆがむ顔になるラビニア		アメリア「……判りましたね……」
135	左右を見ながら……アメリア		アメリア「……それから、皆さん、誰方かセーラさんの為に服を貸してあげて下さい。無論、見学の時間だけの事です。おねがいします……」
136	ざわつく生徒たちを見回しているアメリア　あまりおもわしくない様子である――顔を見ながら後列の方へ歩くアメリア		
137	リンダもドルシラもアメリアを見つめて、うつむいていく――ダイアナたちの方を見て、だめらしい様子が判るアメリア		

	くるりと振り返り		アメリア「ラビニアさん……あなた沢山お洋服おもちだし、背も同じ位だから、如何かしら」
138	振り返るラビニア　立ち上るラビニア　ラビニアきっぱりと言う		ラビニア「折角ですけど……私、この頃大分大きくなってるんです……
139	うつむいているセーラ		(off) やせているセーラには、まるで以合わないと思いますわ……」
140	勝ち誇ったように、ニヤリとして、じっとセーラを見つめたまま座るラビニア　後のガートルードと顔を見合わせてニヤリとする		ラビニア・ガートルード「フフ……」
141	ラビニアの方を見ていたアメリア、振り返り眺め回す　生徒たちだまってうつむいている		
142	上目使いに見てニヤリとするラビニア		ラビニア「フフ……」
143	うつむいているセーラ		

144	一同を見回しながら歩くアメリア　うつ向くダイアナ・ジェニファ・クリステル　?!　となって見る一同		アメリア「困ったわねえ……誰か……いないかしら」 ロッティ(off)「セーラ、ママ!」 一　同「はあ……!」
145	立ち上るロッティ、うれしそうに		ロッティ「あたしの服着て……!」
146	はっとなって見るセーラ、呟く		セーラ「ハッ!　……ロッティ……」
147	どっと笑うジェシーとガートルート		ラビニア「フフッ!」 ジェシー・ガートルート「ガッ、ハッ、ハハハ」
148	プーとふくれるロッティ、だだをこねるように		ロッティ「なによ!　私だってこの頃大きくなったんだもん、セーラママに着られるかも知れないわ」
149	むきになるロッティ		
150	ガートルートとジェシー顔を見合わせて笑う		二　人「ハハハ……クックックックッ」
151	泣き出しそうな顔のロッティ、じっとうつむいているアーメン		

	ガードが急に立ち上る　アメリアを見てから前の方を見ながらうつむいていくアーメンガード アーメンガードを見る一同		アーメンガード「あの……私の服でよかったら…」
152	「はっ」となって顔を上げるセーラと振り返るラビニア		ラビニア「ん！」 セーラ「ハッ」
153	ジェシーとガートルート笑いながら、悲しそうにうつむくアーメンガード――顔を見合わせて大笑いするジェシーとガートルート		二人「フフフ……」 ジェシー「……ダメーーダメ……」 ガートルート「……どうせ、ダブダブ……」 ジェシー・ガートルート「ハッハハハハハ」
154	後ろのジェニファとダイアナも顔を見合わせてクスクスと笑う セーラ、少し悲しそうに返事する		ジェニファ・ダイアナ「ク……クククク……」 セーラ「有難う、アーメンガード……喜こんでお借りするわ」
155	顔を上げてにっこりするアーメンガード、大きくうなずく		アーメンガード「はあー」
156	アーメンガードの後へ来て、肩		

番号	ト書き		セリフ
	に手を置きにっこりするアメリア　うなずくアーメンガード、セーラの方を見るアメリア		アメリア「まあ、よかった……アーメンガードおねがいね……。セーラさん……早速お部屋へいって着換えてらっしゃい」 セーラ「はい……アメリア先生……」
157	苦々しげな顔をしているラビニアと顔を見合わすジェシーとガートルート		
158	表に立つミンチンとアメリア—馬車二台来て止る　下りて来る市長夫人たち馭者が扉を開ける		
159	市長夫人たちに挨拶するミンチンとアメリア　※この間に連れの人々も馬車から降りている		
160	にっこりとうなずく市長夫人、左右を見てうながすようにして前へ出る		
161	後退して通り路をあけるミンチンとアメリア　二人の間を通っ		

	ていく市長夫人たちの一行		
162	立ち上るセーラ、つづく一同		
163	一斉に立つ生徒たち		
164	ミンチン、市長夫人たちの方を向き座るようにうながす 座る一同		ミンチン「どうぞ」
165	ミンチン、市長夫人達の前をオズオズと通りoutしていく		
166	椅子に座るミンチン、満足げに生徒を眺め回す　ちらりとセーラを見る——セーラ、教科書を開ける（ディファルジュにもらった本）		ディファルジュ(off)「さあ、ご自慢のフランス語の授業を始めますよ……」
167	ディファルジュ、セーラの方を見る　立ち上るセーラ		ディファルジュ「……では、セーラ君……12頁のところ朗読したまえ……」 セーラ「はいー！」

168	市長夫人にっこりして隣りの紳士にささやく、うなずく紳士		
169	本を持って、目を本にやるセーラ		
170	明るい顔でセーラをうかがうアーメンガードと皮肉な顔でのぞき見るラビニア		
171	ディファルジュ軽妙に手を振って		ディファルジュ「おーおーお……出来たら暗唱を……」
172	本を閉じ机に置くセーラ、唖然となる後の二人、囁き合う		セーラ「はい……」 ジェシー・ガートルート「えーッ！（ＡＤＬＩＢ）」
173	囁き合うアーメンガード・クリステル、皮肉な表情のラビニア		アーメンガード・クリステル「（ＡＤＬＩＢ）」
174	並ぶ市長夫人以下、オドロキの顔を見合わせる　感心したりしている　ＰＡＮ→		市長夫人一行「ホー、ホー」

175	セーラを注目する生徒たち　やや顔を上げて暗唱し始めるセーラ　ボードレール「エトランジェ」　見つめる生徒たち唖然となっていく		セーラ「J.Eranger Qui aimes-tu lemieux hamme encgmatigue,dis?」
176	立って暗唱しているセーラを時々うなずき、きいているディファルジュ先生		セーラ「ton pere,ta mere,ta saeur au tom frere?」
177	セーラ暗唱する		セーラ「je nai ni pere ni mere ni saeur ni frere,-tes amis?」
178	ミンチン、院長の顔が明るくなっていく　唖然として聞いているクリステルとダイアナ		ミンチン「ハー!」 セーラ(off)「Vaus vaus serwes la dime parale dont usens mest reste jusgua ce jour wcowat」 ダイアナ・クリステル「ハーッ!」
179	にこにこしながら聞いているディファルジュ先生　暗唱するセーラ		

180	洗濯をしているベッキー		
181	ゴシゴシゴシ、洗うベッキー 泡のついた手でひたいを拭くベッキー、祈るように宙を見つめて、又、洗濯を始めるベッキー		ベッキー「お嬢様！……どうかうまく行きますように……」
182	うっとりと聞いている先生、暗唱を続けるセーラ　T・U		セーラ「jaime les nuages……les nuages qui passent……」
183	暗唱し終わるセーラ		セーラ「……la bas……les merueilleux nuages!」
184	満足げにうなずくディファルジュ先生		
185	PAN←　一斉に拍手する市長夫人　隣の人とうなずき合い拍手を送る		市長夫人達「ハー、ホー、すごいわ（ADLIB）」
186	セーラ、頭を下げて座る　唖然として見つめている後のジェシー、ガートルート		S・E　（生徒の拍手おこる）

	あわてて拍手する　ガートルードとジェシー←PAN いまいましい顔のラビニアと喜ごぶアーメンガード　拍手をする他の生徒たち		S・E（拍手）←〜〜
187	ミンチン、満面に笑み浮べてやおら立ち上り、市の重役達の方見る　市の重役達、ミンチンを見る		ミンチン「オホン……申し遅れましたが私ども学院では、フランスの詩朗読には特に力を注いでいるのでございます……いかがでございましたか……？」
188	ニコヤカなミンチン		
189A	市長夫人にこやかに感心しながら		市長夫人「とても立派でしたわ……発音といい抑揚といい、まるでフランス人のようでございましたわ……ねェ、皆さん」
189B	市長夫人、一同の方を見る　頷く囁き合う紳士、淑女たち		
190	満足げな微笑で頭を下げるミンチン		

191	微笑しているディファルジュ・ セーラを見ている		
192	うつむいているセーラ　T・B 口をゆがめ、凝っとセーラをに らむラビニア		
193	一階の廊下　ミンチンに先導さ れて市長夫人たちついて行く 最後にディファルジュが行く （in ー out）		S・E　（扉の開く音） ミンチン(off)「では……どうぞこちらの方へ……」
194	大きく溜息をつき　本を持って 机から離れていくセーラ、他の 生徒は思い思いにしゃべってい る　FOLLOW　PAN← 去りゆくセーラをいやらしい顔 で凝っと見つめて見送るラビニア		セーラ　「フー」 生徒達　「（ADLIB）〜〜」
195	仲良く談笑していたロッティ振 り返り、急いで椅子からおりて 走る		ロッティ「あ……！……セーラママ……！」

<table>
<tr><th>196</th><td>立ち上り、ロッティの方を見る
セーラ、入って来てセーラの手をつかみ甘えるロッティ
セーラ、声の方を見る</td><td></td><td rowspan="2">ロッティ「セーラママ……うまかったわ……フランス語……！」
セーラ「ありがとうーロッティ！」
アーメンガード(off)「本当よ……セーラ……。セーラのフランス語、いつ聞いても綺麗だわ……」
セーラ「フフフ……そんな……それより洋服ありがとう……」
アーメンガード「私の洋服……役にたったのね、うれしい……！」</td></tr>
<tr><th>197</th><td>近づいてくるアーメンガード、ニコニコとして、セーラ、ニッコリして礼を言う
うれしそうなアーメンガード</td><td></td></tr>
<tr><th>198</th><td>ロッティ、アーメンガードのスカートを握り、注意をひき
セーラ、うれしそうに困惑して
三人振り返り声の方を見る</td><td></td><td>ロッティ「ねね……アーメンガード……セーラにフランス語習えるといいわね……」
セーラ「そんな……無理よ、ロッティ!!」
ラビニア(off)「ハハハハ」</td></tr>
<tr><th>199</th><td>笑うラビニアとガートルート
二人顔を見合わせて笑う</td><td></td><td>ラビニア「ハハ……当り前じゃない、教えるなんて！……それにセーラは一日だけの代表生徒の代りをやっただけよ、ハハハ……」
ガートルート「そうよ！ もうすぐまた台所メイドよ、ハハハ」</td></tr>
</table>

200	うつむいていくセーラと見つめるアーメンガード		
201	ジェシー、スカートをつまみ、ミンチンの真似をしながらセーラの方へ行く　くるりと振り返る		ジェシー「セーラ……セーラ!!　何をまごまごしてるんです!…… しっかり……!　掃除をするんです!!」
202	A・C くるりと振り返るジェシー　後で苦虫をかみつぶした顔で見る三人		
203	手前にセーラの真似をしながら来てうなだれてるガートルート三人それぞれに顔を見合わせてどっと笑い始める		ガートルート「はい……院長先生!」 三　人「ウ……ハハハハ……」　←
204	手前の三人顔を見合わせ眉をひそめて奥を見る　笑っている三人とセーラたち		三　人「ハハハ……」
205	うつむいているセーラの手を握りしめ、にらむロッティとアー		

	メンガード　セーラの顔にT・Uする		
206	テーブルをかこむ人々を見回していた市長夫人		市長夫人「……ところで院長先生」 ミンチン(off)「はい、何でございましょう」
207			市長夫人(on)〜(off)に「あれ程のフランス語のお上手な生徒さんが居られるのになにもせずには、この学院のマイナスではありませんこと？」
208	アメリアとミンチン顔を見合わせて夫人の方を見る　奥で仕事をしているベッキー		ミンチン「と……申しますと……？」
209	にこやかに話す市長夫人		市長夫人「……例えば年少の生徒さんに、フランス語の初歩を教えさせるとか……あのセーラさんなら充分やれる筈と存じますわ……」
210	話を聞いてうつむいていたディファルジュ、市長夫人の方を見て微笑する		(off)……ね……どうですか、ディファルジュ先生」 ディファルジュ「……ええ……その通りです……市長夫人……」
211	唖然とするミンチン		ミンチン「セーラに年少組を教えさせるようにと……」

212	ポットからお茶をついでいたベッキーの手、はっとなって止る		ベッキー「ハッ！」 市長夫人(off)「ええ……学校経営には、そうした配慮こそ必要では……ないかと存じます」
213	うなずくお付きの人々		
214A	叩頭するミンチン……冷汗を拭う　手を止めて後を意識していたベッキー、にっこりとしてお茶を注ぐ　ミンチン顔をそらし（うつむきぎみ）唇をかみしめる		ミンチン「……はあ、……気がつきませんでした……その点は早速仰言る通りに致す事に……はい……」
214B	ギュッと握られる手		
215	ニッコリとして一人、叩頭しているディファルジュ……		
216	扉をあけて出てくるベッキー、丁寧に扉を閉める　一人、悦々してる　ニコニコとして走る		ベッキー「フフフッ！」
217	手前で奥のセーラ、アーメンガードの方を見ながら囁き合って		

	218	219	220	221
いるラビニアたち　手前三人顔を寄せ合ってくすくす笑う 手前の三人、扉の方を見て顔つきが「キッ」となる　奥のグループもはっとなって見る	扉を閉めて振り返りうなだれていく　声の方を見てにっこりするベッキー	セーラたちの方へ行こうとしてにらんでいる三人の視線を見てすくみうなだれるベッキー ロッティがベッキーに駆け寄ってくる　つづいてセーラ、アーメンガード近づいてくる　ほっとするベッキー、意気込んで話しだす	ベッキー、夢中で話す	アーメンガードと顔を見合わせるセーラ
三人「フフフ……フフ……!!」 S・E（激しく扉のひらく音） 三人「ん!!」 生徒達「ハッ!」	ロッティ(off)「……あ……ベッキー!!」 ベッキー「フフフッ」	ロッティ「……ね……ね、ベッキー、どうしたの……?」 ベッキー「フーッ!」 ベッキー「……お嬢様、大変でございます。市長夫人のおすすめでお嬢様は年少組のフランス語の先生におなりになるんですよ……!」		(off) セーラ「えーっ?!」

222	セーラの手にすがって飛びはね喜こぶロッティ　飛びはねるように手前に走るロッティ		ロッティ「ワーイワーイ……セーラママ……すばらしい……！　私の先生になってくれるんだ……!!」
223	スーザンのいるとこへ来て手をとりはしゃぐロッティ 奥で囁き合う、リンダ、クリステルたち		ロッティ「うわ――　私達の先生にセーラ……がセーラママがフランス語を教えてくれるのよ!!」
224	ロッティの方を見ていた二人、声をかけられてアーメンガードを見るセーラ		アーメンガード「ね……セーラ！　……私もロッティと同じ年少組に入れてね、だって、私、フランス語、駄目なの判ってるでしょ……ね、おねがい……!!」
225	あきれ顔のセーラ		セーラ「……まあ……アーメンガードったら…」
226	三人顔を見合わせて笑う		三人「フフフ……」
227	冷たい顔をして凝っと見つめる三人		
228	叩頭する市長夫人 馬車の方へ向う一同		

229	見送るミンチン・ディファルジュ		
230	馭者、扉をしめて前へ		
231	手を振る夫人、にこやかに		
232	見送るミンチン達、馬車、ガタンとゆれて出ていく		
233	出発していく馬車、続いてもう一台見送る学校関係者		
234	いらいらと往復するミンチンの足――片方の手はスカートを強く握っている　ふと立ち止る		
235	しかめっ面をしているミンチン いらいらと眼鏡をつり上げて、ちらりと斜め後を、顔を動かさないで見る		
236	さわやかな顔をして立っている		

	237	238	239	240	241
セーラ、後にアメリアもいる	目を戻しフンといった顔になり イライラとした感じで歩き出す	窓辺に行き、立ち止まり、ギュッと手でスカートを握りしめる	明るい顔でミンチンを見つめる セーラ　ミンチンとセーラの両方をうかがうようにして気をもんでいるアメリア　セーラにT・U はっとなる二人	ドンと両手で窓のサンをたたく ミンチン　苦痛をこらえるように、深くうつむいて――　握った手震えている	かすかに震える肩――大きく息をして、外をあおぎ見る 振り返るミンチン、にっこりとする
	ミンチン「フン！」		セーラ・アメリア「はっ！」	ミンチン「ううう……」	ミンチン「フ――ッ」 ミンチン「フフッ！」

242	はっとなる二人、アメリア、組んだ手をはなす	二　人「ハッ！」
243	ニコニコとしながら手前に来るミンチン立ち止り、精一杯の笑みを浮べて	ミンチン「いいですね、セーラ……お前に年少組のフランス語を教えさせる事にしたのは、私の深い思いやりからです……」
244	じっとミンチンを見つめるセーラ	
245	柔和な顔のミンチン 返事するセーラ　セーラの言った後……次のことばをまつミンチン、少し首をかたむけるようにしてのぞきこむ	ミンチン「……それを忘れないように」 セーラ「はい、院長先生……」
246	ミンチンを見つめるセーラ ？の気持ちで薄くあく口	セーラ「はあ」
247	イライラとしてくるミンチン、片方の眉がいくらかゆれ上る 礼を言うセーラ　満足げにうなずき起き上るミンチン	ミンチン「感謝の言葉をのべるべきです」 セーラ「はい……有難う御座居ます、院長先生」 ミンチン「それから……もうひとつ……フラン

	唇をゆがめた優越にひたった笑を見せるミンチン　除々につり上ってくる眉	ス語を教えるようになるからって、お前の身分が変ったり、今までの仕事が減る訳ではありません！」
248	異様な変化に驚くアメリア、いく分前へのり出して、言ってからはっとなって息をのむ	アメリア「お姉さま……!!」
249	キッとなってにらむミンチン 目線をセーラに落し、にらみつけるミンチン	ミンチン「ムッ！」 ミンチン「台所の仕事は、今まで通り片付けるんです……！」
250	ミンチンを見上げているセーラ	
251	イラ立ってくるミンチン、握った手が震え、椅子をつかんだ手も震えている ぎっとなって振り返るミンチン	ミンチン「さ……!!　いつまでそんな服を着ているんです！」
252	振り返りドンと机をたたきスカートを思い切り握りしめるミンチン	ミンチン「早く元の服に着換えて、働くんです!!」

253	セーラ、はっとなり		セーラ「はい……?! 院長先生!」
254	ふるえる手、宙を見上げている ミンチン、除々にうつむいていく		
255	くやしさに歯をかみしめている ミンチン		
256	青い空に白いくもが公園の上に見える　小鳥が飛んでいる 下から昇ってくるセーラ、昇りきり空を見て、眺め回す 振り返るセーラ　本を抱えたディファルジュ先生、来て止り、セーラの姿を見直して、両手ひろげ肩をすぼめ、先生、セーラの肩を抱いて歩いて out していく		S・E（扉の開く音、閉る音） セーラ「あっ、ディファルジュ先生!!」 ディファルジュ「おやおや……また逆戻りじゃな……」
257	町角にやってくる二人 立ち止る二人		セーラ「……私に年少組のフランス語を教えさせるよう市長夫人にすすめたのは先生だったんでしょう」

258	ディファルジュ大袈裟なジェスチャーで、片目をつぶる にっこりと笑うセーラ	ディファルジュ「ノンノン……ノン……！　それはきっと神様の思召しじゃよ……」 セーラ「フフフッ……」
259	街のフカン セーラ、きっぱりと答えて、思わず聞き返すディファルジュ	ディファルジュ(off)「ところで君は将来なにになろうと考えているんだね」 セーラ(off)「先生です」 ディファルジュ(off)「先生!!」
260	驚くディファルジュ、セーラの前に回りこんで	セーラ「……お父様がなくなって、将来のことを真険に考えるようになってそう決心したんです。……ですから……年少組を教えさせて頂けると決って、とても嬉しいんです」
261	微笑しているセーラ	
262	感心するディファルジュ、大きくうなずき、明るく笑うディファルジュ　にっこりするセーラ	ディファルジュ「成程、それはよかった……」
263	二人空を見上げる	S・E（教会の鐘の音）
	O・L	
264	屋根裏部屋、勉強しているセーラ	

265	フランス語の勉強である		セーラⓂ「明日からロッティたちにフランス語を教えられる。今、私の心は新しい勇気と熱意であふれそうになっていました」
266	メル出てくる		
267	メル、セーラの方へ行く セーラ振り返る　パンを役げる メル食べ始める		メル「チュチュチュ……」
268	食べるメル		
269	にっこりとしてメルを見ている セーラ、振り返り勉強を始める 本をめくるセーラ		

＜END＞